

話題を提示する文とメタ言語表現

若 森 幸 子

0 はじめに

テキストの中で、一定の話題に関するまとまりに対して、その話題を提示する表現について考えたい。それは平たく言えば、パラグラフ¹⁾の中心となる文ということである。中心文²⁾の位置、話題の取り上げ方を見ていくと、テキストの構造、内部の関係性の解明につながると考えるからである。

まず、テキスト、パラグラフ、中心文の関係をおさらいしておこう。ある文章“篇章”をここではテキストと呼ぶことにする。テキストには内部にパラグラフ“段落”があり、パラグラフには一定の話題（トピック）があると考えられる。したがってパラグラフには、話題を提示する文があり、それを中心文と呼ぶことにする。中心文は、話題を提示する部分と、それを叙述する部分からなる。

日本語テキストにおける話題を提示する文については、野村 2000 が詳しい。野村 2000 は、話題を提示する文をトピック・センテンス²⁾と呼び、日本語のトピック・センテンスを次の二つの類型に分類している。

- a メタ言語表現によりパラグラフを直接操作する事を基幹とする表現類型
- b 情報要求、情報提供によって、パラグラフの話題を提示することを基幹とする表現類型

本稿は中国語テキストのパラグラフの中心文について、この分類に従い、a については1節で、bについては2節で、それぞれの類型の特徴を明らかにしようとするものである。

1.0 メタ言語表現を用いてパラグラフを操作する表現の種類と特徴

メタ言語表現とは、「言語活動を説明する言語表現」ということができるが、テキストにおいては、「コミュニケーションの参加者（書き手、話し手のこと）が、自分の表現した、あるいはこれから表現しようとするテキストに、観察者の立場から言及する表現類型」（野村2000）である。その性格としては、次の2点である。

- a 書き手、話し手が、観察者としてテキストに言及する表現がある。
- b a によってテキスト内の部分の相互関係が明らかになる。

たとえば次の例は、書き手がテキストに言及する事によってパラグラフを操作する表現である。

- (1) これで、電車を駆動する仕組みに付いての一般的な話を終わる。次にサイリスターを用いたチョッパー装置と、サイリスター・ブリッジによる制御について述べてみよう。（野村2000p126より）

(1) では下線部の「話を終わる」「述べてみよう」が、メタ言語表現である。この表現によって、「ある話題をここで終了させる」ことや「次の話題を開始させる」ことが示される。

野村2000では、日本語テキストのメタ言語表現には

- a パラグラフの話題を提示し、開始または終了を示すもの及び、さらにaに加えて関係性を示すものとして
- b 展開させる様式・相互関係・論述の観点を指定するものがあげられている。

1節では、中国語テキストからメタ言語表現を取り上げ、パラグラフ中の働きを見てみよう。

1.1 パラグラフの話題を提示し、開始・終了を示すもの

- (2) ①近年来，在学生中间出现了一种新的时髦，那就是上学带手机。

- ②上学带手机，能给同学们带来联络之便，但也有可能影响学习和造成攀比之风，此事究竟利大还是弊大，这期我们就来谈谈这个事儿。〈上学，该不该带手机《半月谈》〉
- (3) ①暑假是同学们好不容易盼来的，本应给大家带来轻松和快乐，没想到反而引发了一些同学的烦恼。②这期我们就来讨论一下这个话题。〈暑假，孩子们去哪《半月谈》〉
- (4) ①代沟，是一个老问题。②但是，随着社会的发展，老问题又在不断地变化着形式和内容。③本期话题，就让我们从这个老问题说起，听一听同学、老师、家长的新感觉、新认识，以及他们在面对这一问题时有哪些值得借鉴的做法。〈能不能与父母说说心里话《半月谈》〉

(2) では、①下線部“那就是上学带手机”と話題が提示されたのち、文②“此事究竟利大还是弊大”で問題点がのべられ、“谈谈这个事儿”とメタ言語表現を使い、以下のパラグラフでの言語活動が示されている。(3) は文②がメタ言語表現であり、(4) では③の下線部がメタ言語表現であり、これらがそれぞれ、パラグラフ開始の操作をしている。以上の例の網掛け部分は、メタ言語表現の動詞部分である。ここでは、“谈”“讨论”“说”“听”などの言語行動を表す動詞が用いられ、開始を示すための表現として、重ね型、V+“一下”、V+“起”が用いられているのが特徴である。日本語においては、パラグラフを開始させる表現は文末形式に特徴があることが指摘されている。その中に動詞に「てみる」「う／よう」「たい」を付加した形式があり、中国語との共通性が感じられる。

(2) (3) (4) のメタ言語表現には、先行して話題を提示する部分がある。それぞれ①が話題の提示部に当たる。話題提示部分とパラグラフを開始させる表現とあわせて中心文を形成すると考えられる。

次に、パラグラフの終了を示すメタ言語表現を見よう。(5) (6) ともにパラグラフの最後に位置するもので、(5) は「民主集中制については、ここまでとしよう」、(6) は「以上、整風の重要性を述べた」というように、そのパラグラフを終わることをしめしている。〰部分でパラグラフの話題について言及し

ており、網掛け部分は言語活動を表す動詞、下線部分は終了するパラグラフを指示する表現である。

(5) 关于民主集中制，就讲这些。〈邓小平文选第二卷〉

(6) 以上是整风的重要性。〈邓小平文选第二卷〉

1.2 パラグラフの展開を示すもの

パラグラフを開始させるときに、そのパラグラフがどのような展開をするかをあらかじめ示す表現がある。これは動詞部分の意味によって展開の仕方を示すメタ言語表現である。日本語の例をあげておく。

(7) ここでは、互いに相手を過大評価していることを頭に入れた上で、主として西側の資料、推定をもとに米ソ軍事力を比較してみよう。(野村 2000p142 より)

(7) では、「比較する」というメタ言語表現によって、以下のパラグラフが比較しながら展開されるということが、予測可能になる。

(8) 事过 60 年以后，为什么人们还这样怀念张思德、崇敬张思德？这说明，当今的时代，仍然需要张思德，需要为人民服务。所以，我们应该经常地想一想张思德，比一比张思德。 〈三比张思德《京华论坛》〉

(8) は、最初の文で話題“张思德”が提示されている。このあとのテキストでは、“张思德”と「現在の私たち」とを比較する文面が続くのだが、ここではメタ言語表現の動詞（網掛け部分）“想一想、比一比”によってこの展開があらかじめ示されている。また開始の表現として、動詞が重ね方になっている。

(9) ①—近日，在河北泊头法院上半年工作总结大会上，5名审判长因在岗位责任考核中案件“发改率”不达标，被取消了审判长资格，接受下岗培训。

②读到这个消息后的感想，归结起来起码有三条：

〈让粗放式官员下课《京华论坛》〉

(9) は話題の提示を文①で行い、文②で指示形式“这个”があり、“归结+起

来”で次に来るパラグラフが“归结”されたものであることを示している。(8)
(9) 共に、話題提示に続いてメタ言語表現があり、「～について、これからこのように展開する」ことを述べる中心文を形成すると考えられる。さらに(9)では“有”と数詞があり“归结”したものが3か条述べられる事を読み手は知る事が出来る。ここに用いられた“有”と数詞の表現について1.3で考えてみたい。

1.3 数量的展開を予想させる表現 “有+複数を示す数詞”

野村 2000 は、メタ言語表現によるパラグラフの展開様式の中で、数量的な関係について述べている。たとえば次のようなものである。

(10) 彼らの社会を探る糸口として、まず「食」と「住」というこの二つの生活上の必須条件を取り上げたい。〈野村 2000p144 より〉

(11) 他の動物が化けた例を二つ三つ述べるとしよう。〈同上〉

これらは具体的な数を上げて、複数の事例が並列に取り上げられるということ、あらかじめ予測させる働きがある表現である。また「取り上げたい」「述べる」としよう」のようにメタ言語表現が使われている。

中国語テキストではどうかと言うと、複数を示す数詞を用いて展開の様相をあらかじめ示す表現が、やはりある。次の例を見てみよう。

(12) 时下，校园颇为时髦的一句话就是：有事给我打手机。特别是家庭条件好的同学，有的竟拥有三四部手机，并越来越时尚。对此，我的立场很坚定，中学生不应该带手机，理由主要有三方面：一、短信闲聊，贻误学业；二、不良信息，污染心灵；三、助长奢侈浪费和盲目攀比之风。〈此风当刹《半月谈》〉

(13) 我认为评选“三好学生”至少有三大弊病。一是会影响同学的团结。例如我们班每个期末只会有7个同学当选（全班70人），难道剩下的同学就都比他们差吗？恐怕不见得。〈要消除三大弊病《半月谈》〉

(12) では“理由主要有三方面”によって書き手が“中学生不应该带手机”だ

と考える理由が三つあることを示しているが、それだけではなくさらに、その3つの理由をこれから述べることを予測させている。(13)でも同じく下線部のあとは“一是…二是…三是…”という展開になるのだが、“有三大弊病”によってこの展開がすでに暗示されている。どちらも共通して“有+複数を示す数詞”の形を持ち、これがパラグラフを操作する表現であろうと考えられる。しかし、肝心の「テキストに言及する表現」がない。“有+複数を示す数詞”だけでは、ただ「いくつかの何者かがある」というだけで、メタ表現とはいえない。(10)(11)にあった「とりあげたい」「述べるとしよう」にあたるメタ言語表現がここにはなく、言い換えると、“有+複数を示す数詞”の後に本来なければいけない「これについて述べていこう」というメタ言語表現がなくなってしまうので、しかし、働きとしては、メタ言語表現として作用しているという面白いことになっている。“有+複数を示す数詞”とメタ言語表現がともに現れるのは(9)であるが、これ以外は見つからなかったのも、中国語ではメタ言語表現のないのが無標だと思われる。

つまり、テキストの中の“有+複数を示す数詞”は、メタ言語表現のマーカータを持たないがメタ言語と同じ作用を持つ表現だと考えてよいのではないか。次の例は、動詞が“有”ではなく“包括”であるが、この“包括”は“有”に置き換えが可能なので、“有+複数を示す数詞”と同じように考えられる。

(14) 文明使用手机，对学生来说，主要包括三个方面：一是掌握好开机关机时间。一般来说，…。二是能选择恰当的使用场所。…。三是交际内容和对象的恰当选择。…〈关键是教育孩子文明使用《半月谈》〉

“有+複数を示す数詞”表現は、これだけでは話題を特定できないので、先ず先行する部分に話題提示があり、“有+複数を示す数詞”表現の後に話題が展開していく部分があるわけである。話題提示部分と“有+複数を示す数詞”の文とで、パラグラフの中心文になっている。

(15) では、波線部が話題提示、下線部が“有+複数を示す数詞”の文であり、合わせて中心文と考える。

- (15) 现在患近视的中学生越来越多，造成这种现象的原因很多，但据我观察，有几个突出的问题应该引起广泛的关注。一是街机的危害。现在街机受到中学生的普遍喜爱。〈影响视力的几个突出问题《半月谈》〉

1.4 メタ表現としてのコロン“:”（冒号）

中国語評点符号のコロン“:”（冒号）は、日本語ではあまり使われないものなので、テキストの中に出てくると「このコロンの意味は何か」と一瞬ひっかかる。辞書には、「以下に文を提示したり、上文を総括する時に使われる（『漢語学習詞典』朝日出版社）」と説明されているが、ここではコロンのメタ表現的な性格について、ちょっと寄り道ではあるが、考えてみたい。

次の例を見てみよう。(16) (17) どちらもコロンの前に提示された名詞についてコロンの後でその中身が展開されている。

- (16) 我们班 57 人，一半近视，其他班情况也差不多。我想，这主要是大家为了考出好成绩，整天钻在书里，不注意休息造成的。同学、家长、老师似乎都是同样的观念：近视了有什么了不起，可以配眼镜嘛。只要能出成绩，就不惜一切代价。〈谁来保卫我们的视力《半月谈》〉

- (17) 所以，女儿无论做什么事，都能做到胜不骄，败不馁，乐观地迎接生活中的各种挑战。从自己的经验我得出这样的结论：为了孩子的健康成长，父母与子女应该多多沟通。〈让孩子健康成长《半月谈》〉

下線部で、「同級生も父母も先生もほとんど同じ考えだ」として提示された“观念”がコロン以下の部分に、具体的に述べられている。ということは、このコロンは「その“观念”はどの様なものを次に述べよう」という意味である。(15) では下線部の“結論”に続くコロンは、「その“結論”はどの様なものかこれを書きましょう」という意味であり、これは書き手が表現しようとするテキストについて言及しているのであるからメタ表現の持つ役割ではある。

ここに、《99年人民代表大会報告》の中国語原文と日本語訳文があるので、コロンの部分（網掛け部分）を比べて見てみよう。

(18) 在肯定成绩的同时，我们清醒地看到，前进中还存在不少困难和问题。

主要是：市场需求不旺，启动难度较大；…

(18') 成果を確認すると同時に、われわれは前進途上になお少なからぬ困難と問題が存在していることを冷静に見て取っている。それは主として次のような問題である。市場の需要がふるわず、景気浮揚の推進力が弱いこと。…〈中日対訳語料庫による〉

下線部“主要是”のあとのコロンは、日本語では「次のような」とパラグラフの展開を示す表現で訳されている。やはり、コロンはメタレベルの表現なのである。

もともと、標点符号全てがそもそもメタレベルなのだと言えるかもしれない。

“。句号”は「文がここで終わるよ」、「？ 问号”は「疑問文がここで終わるよ」、「… 省略号”は「ここは省略するよ」ということを言っているわけで、そう考えれば、コロンだけがメタレベル表現なのではない。しかし、日本語ではあまり使われない分、コロンの「メタレベル度」が際立って感じられるのかもしれない。

以上、1節ではメタ言語表現がパラグラフ開始・終了・展開させる様子を観察し、いくつかの類型を見た。

2.0 パラグラフの話題を提示する表現の類型と特徴

ここでは、メタ言語表現を持たずに話題を提示し、パラグラフの中心文を形成する表現を見ていく。情報を要求する文と情報を提供する文に分ける。

2.1 情報を要求する文

2.1.1 パラグラフの最初に位置する疑問文

情報を要求する文とは、統語的に言えば疑問文のことである。パラグラフの最初にあらわれた疑問文は、それ以下で取り上げられる情報を要求する表現になっている。この表現はパラグラフの話題を提示し、中心文となりうる。

(19) ①お化けは、いったいどうして生じたか、またどういう原因によって出現するのであるか？

②一つには遺執的原因、二つには他律的原因、三つには時効的原因と、ざっとこんなふうに江馬務氏は分類されている。〈野村 2000 p149〉

(19) は、パラグラフの冒頭部分であり、文①の疑問文が、文②で取り上げられる情報を要求する表現になっている。

(20) 那么吸引众多同学带手机的原因是什么呢？大概还是手机上的其他功能吧。彼此间有事没事发几条短信，闲来换一条铃声，摆弄一下小游戏，或者买些饰品给它们装扮一番，都是手机一族常做的事。〈手机冲击波《半月谈》〉

(20) では、最初に位置する疑問文が要求する“原因”がこのパラグラフの話題であり、それ以下の部分で“什么呢？”に対する回答が展開されていく。下線の文は、話題を提示する疑問文であり、中心文であると考えられる。

2.1.2 パラグラフの最後に位置する疑問文

日本語テキストでは、パラグラフの最後に現れる情報要求表現は、強い断定の意味となり、そのパラグラフの話題を、集約的に提示するものだと言われている。中国語でも同じ状況が見られる。

(21) 在“三好学生”的荣誉面前，每个同学的机会都应是均等的，就是来自老师的不公平把原本均等的机会变成了不均等。这样的评选，对学生心灵的健康有益吗？〈那次评选伤害了我《半月谈》〉

(22) 有的人连课间 10 分钟也吝惜得很，把眼睛交给了书本，甚至连走路也不忘拿着英语词典背上几个单词。这样的生活状态，明亮有神的双眼怎么能不近视？但是，我们怎样才能改变这种生活状态呢？〈有几个人没戴眼镜《半月谈》〉

(21) (22) 下線部ともに、テキスト最後の部分にある疑問文である。網掛け部分の指示詞の使用により、前に述べられていることとの関連が導入され、それがここでの話題である。その話題を (21) では「学生の心の健康にとって有

益だろうか？（書き手は有益だとは考えていない）」と断定し、(22) では「このような生活で、近視にならないでいられるだろうか（近視にならない訳がない）」かといって「どうしたらこの生活を変えられるというのだ（変えることはできない）」と断定している。このように下線の疑問文は、問題提起をする中心文となっている。

(23) 灯关上了，教室里更黑了，我再也看不见书上的字。静静地坐在那里，我心里浪涛翻滚，一直摆脱不了这个念头：“开灯，难道我错了吗？”〈开灯，我错了吗？《半月谈》〉

(23) は、これより前の部分で、教室が暗いので明かりをつけたところ先生から非難されたという体験が語られている。下線部の一文は、書き手の主張を込めた中心文になっている。

2.2 情報を提供する文

2.2.1 パラグラフの最初に位置するもの

次の例は、最初の文の主語として取り上げられた名詞句が、パラグラフの話題となっている表現である。

(24) 学生的视力问题，已经成为一个社会问题，这一点，我们高中毕业班的教师感受特别深。一些学生在报志愿时，因为视力问题不能选择自己心仪的学校或者专业。〈谁来保卫我们的视力《半月谈》〉

(25) 暑假期间，我们中学生很难找到一个理想去处来放松自己。像北京、上海等大城市都有高水平的科技馆或其他一些名胜古迹向青少年免费开放，可对于大部分中小城市来说，根本无力给青少年提供太多有益的去处。〈何去何从《半月谈》〉

△ (24) (25) とともに、網掛け部分は「学生の視力の問題というのは」「夏休み期間というのは」のように、話題を取り上げる表現である。述語部分は、(24) では「社会問題になっていて、教師も大きな関心をもっている」状況が述べられ、(25) では、「自分達中学生にはリラックスする場所が無い」という状況が述べられていて、話題部分と叙述部分のある中心文となっている。

(26) は、テキストの最初の文が総称文である。「目は心の窓といわれる」と一般的にとらえた総称表現で、その先に述べることの前提あるいは共通認識を述べて、話題を取り上げる文となっている。

(26) 眼睛被喻为心灵之窗。正值花季的中学生，每个人都应该有一双清澈明亮的眼睛。但可惜的是，近年来由于种种原因，我国中学生的近视率却居高不下。...〈谁来保卫我们的视力《半月谈》〉

次にあげるものは、1人称の主語と動詞“认为”“觉得”などが使われ、書き手の意見や主張を述べるもので、パラグラフの最初に位置して、その中心文となっている。目的語のフレーズには助動詞“能”“会”“应该”“要”が使われている。(31)は「最も大切なものは」の判断を述べる“是”の動詞述語文である。

(27) 我认为我们中学生不能总是抱怨父母对自己不了解，而是应该试着敞开心怀与他们交流。不要嫌他们话多，因为你是他们的孩子，你和你的父母都有义务把家庭氛围营造得更好。〈不要抱怨父母《半月谈》〉

(28) 我觉得不应该取消“三好学生”的评选。因为这样的评选可以激发学习动力，产生竞争，形成浓郁的学习氛围。〈要真正的评选《半月谈》〉

(29) 作为一个家长，我认为取消“三好学生”评选，多数平民百姓都会举双手赞成。从很多人的经历来看，哪些孩子容易评上“三好学生”？当然是父母有钱有势的孩子容易评上！〈“三好生”评的是父母的本事《半月谈》〉

(30) 我认为亲子沟通的方式随着年龄的增长而要有所改变。当孩子还小时，父母应给孩子更多的宽容，父母占据沟通的主动权；当孩子长大后，父母与孩子的沟通应处于平等的地位，这个时候的沟通应该互相体谅。〈不能与父母说说心里话《半月谈》〉

(31) 我认为对于教育来说，最重要的是关注学生的身心健康。浙江淳安县某小学三年级学生徐健，是大家眼里的优秀学生。从跨进小学校门那天起，他的成绩一直保持全班第一，年年被评为“三好学生”。但是，…〈身心健康最重要《半月谈》〉

(27) (28) (29) (30) (31) は実は、全てテキストの冒頭の部分であり、テキスト全体の中心文としての役割を果たしている。最初に主張を述べる中心文があるというこの類型は、野村 2000 には言及がない。これは、ひとつには日本語テキストでは、あまり見られない表現類型なのかもしれない。あるいは、中国語テキストが「主張を述べるテキスト」に数が偏っていたかもしれない。これについては、今後日本語テキストの調査をしたいと思っている。

2.2.2 パラグラフの最後に位置するもの

次の例はパラグラフの最後にある中心文である。

(32) ①据某市教育部门对其下属的9所中学学生手机持有者所做的调查问卷显示, 学生使用手机用于紧急联系用途的为5%, 上网聊天21%, …

②这样看来, 我觉得除非大家有一天都能够严于律己, 端正使用手机的态度, 手机才可以走进中学校园。〈学生用手机干什么《半月谈》〉

(33) ①随着科技发展, 电脑越来越普及, 沉迷于电脑对视力同样有着极大的杀伤力, 还有我们使用的书本的质量以及戴上眼镜后眼镜的质量问题等, 这些都在影响着我们的视力。②所以, 保卫学生的视力是全社会的事情, 需要方方面面的努力。〈责任在谁《半月谈》〉

(34) ①作为家长, 一味地满足学生盲目追求时尚的虚荣心理, 纵容其配带使用手机, 会在学生间造成攀比心理, …。…。…。②还会影响学生正确的人生观、价值观的形成, 有悖于家长的初衷。③综上所述, 学生携带手机, 弊多利少, 不带为妙。〈弊多利少需慎带《半月谈》〉

(35) 希望家长们在为孩子买手机和付高额的话费之外, 也来关心一下孩子们究竟用手机在做什么。〈请家长们注意了《半月谈》〉

(36) 据了解, 目前我国六百多个大中城市及部分城镇都建立了消防教育基地, 建议中小学生在暑假不妨到消防教育基地去看看。〈暑假, 孩子们去哪《半月谈》〉

(32) ②、(33) ②、(34) ③、(35)、(36) はそれぞれ、パラグラフの最後であり、中心文だと考えられる。先行する部分との関連に言及し、結論を述べた

りまとめて言い直したりすることを明示するための表現として、(32) “这样看来”、(33) “所以”、(34) “综上所述” が使われ、日本語で言われる「結論的中心文」や「要約的中心文」³⁾ にあたる。(32) では、書き手の考えを述べる“觉得”があり、また、希望や提案を述べる表現 (35) “希望” (36) “建议” も見られる。

3 パラグラフの中心文についてのまとめ

ここまで見てきた2種類の表現類型（メタ言語表現とそれ以外の表現）についてパラグラフの中心文との関係を、もう1度ここで簡潔に述べる。

a. メタ言語表現によりパラグラフを直接操作することを基幹とする表現類型に関して

- ・パラグラフを開始させる表現及びパラグラフを展開させる表現では、先行する話題の提示部分と合わせて中心文を形成する。動詞部分に表現特徴が認められることは、日本語テキストと同じである。
- ・パラグラフを終了させる表現では、話題を指示してそれを終了することが示される。
- ・テキスト中の“有+複数を示す数詞”はメタ言語表現が無くても数量的展開をあらかじめ示すことのできる表現である。話題を提示する部分と合わせて中心文を形成する。

b. 情報要求、情報提供によって、パラグラフの話題を提示することを基幹とする表現類型に関して

- ・パラグラフの最初と最後に位置する疑問文は、問題提起の中心文となる。
- ・パラグラフの最初に位置する情報提供の文は、最初の文の主語や総称文で話題を取り上げ、中心文を形成する。また一人称主語で主張を述べる中心文もある。
- ・パラグラフの最後に位置する、「結論的中心文」「要約的中心文」が中国語テ

キストでも見られる。

注

- 1) 「パラグラフ」に関しては、「段落」「分段」「段」「パラグラフ」などいくつかの考え方と名称があるが、ここでは野村2000に従い、「テキスト内の任意の話題にかかわる、任意の規模のまとまり」を形式段落と区別して「パラグラフ」と呼ぶことにする。必ずしも形式段落と一致するとは限らないものである。
- 2) 中心となる文については、野村2000は「トピック・センテンス」という述語を使っているが、本稿では単に「中心文」と呼ぶ。
- 3) 野村2000 p158 参照

〈参考文献〉

- 工藤浩 他 1993 『日本語要説』 ひつじ書房
野村眞木夫 2000 『日本語のテキスト—関係・効果・様相—』 ひつじ書房
刘顺乏 2003 《现代汉语名词的多视角研究》 学林出版社
徐赳赳 2003 《现代汉语篇章回指研究》 中国社会科学出版社

〈用例出典〉

- 《邓小平文选第二卷》及び《99年人民代表大会报告》北京日本学研究中心2002、
2003 《中日对译语料库第一版》
《京报论坛》2004 京报网 <http://www.ben.com.cn/>
《半月谈》2004-12, 13, 14, 15 新华网 <http://www.xinhuanet.com/banyt>

(わかもり ゆきこ・お茶の水女子大学大学院博士後期課程)